

TOSHIBA

第181期定時株主総会

連結計算書類の監査結果等

監査委員会の監査報告

- 会計監査人、監査委員会の監査報告書は「第181期 報告書」43～46ページをご参照願います
- 事業報告・附属明細書、取締役・執行役の職務の執行、内部統制システム等についての監査委員会の監査結果は、46ページ「2.監査の結果」の通りです
- 東芝ITサービス不適切取引、東芝インターナショナル米国社従業員不正については、再発防止策の検証も含め、内部統制改善に努めていきます
- 計算書類・附属明細書・連結計算書類について、会計監査人から無限定適正の監査意見(43・44ページ)を得ており、監査委員会は、監査の方法・結果は相当と認めます

第181期報告事項

2019年度連結業績

営業利益は1,305億円と、前年比3倍を超える水準を達成

	19年度実績	19年度計画	差異	18年度実績	差異
売上高	3.4兆円	3.4兆円	—	3.7兆円 ^{*3}	▲0.3兆円
営業損益 (ROS%)	1,305 億円 (3.8%)	1,400億円 (4%以上)	▲95億円 (▲0.2%)	354億円 (1.0%)	+951億円 (+2.8%)
営業損益 コロナ影響除き (ROS%)	1,508億円 (4.4%)	1,400億円 (4%以上)	+108 億円 (+0.4%)	354億円 (1.0%)	+1,154 億円 (+3.4%)
EBITDA ^{*2} コロナ影響除き	2,101億円 (2,304億円)	2,200億円 (2,200億円)	▲99億円 (+104億円)	1,139億円	+962億円
当期純損益	▲1,146億円	非公表	—	10,133億円	▲11,279億円

*1 ROS = 営業利益 / 売上高 *2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 *3 メモリ転売:1,017億円、PC:794億円を含む

TOSHIBA

第181期定時株主総会

当社グループの経営方針

2020年7月31日

株式会社 東芝

代表執行役社長 CEO

車谷 暢昭

高収益性を追求するためのポートフォリオ改革

効率的な資本政策に焦点を当て、ノンコア資産、事業外資産の売却を継続

01 過去の売却実績

- ✓ **ノンコア事業:**
米LNG事業の売却、海外原子力建設事業
 - ✓ **政策保有株式:**
IHI、ジャパンマテリアル
 - ✓ **子会社:**
64社の削減
 - ✓ **不動産関連:**
NREG東芝不動産株式
北九州工場跡地
 - ✓ **ROS 5%ルールに基づくモニタリング:**
火力発電事業、システムLSI事業
東芝テックのプリンティング事業
HDD事業
- 約460億円

02 上場子会社3社の完全子会社化

- ✓ 東芝プラントシステム、ニューフレアテクノロジー、西芝電機への公開買付けを完了
- ✓ 現在は、シナジー最大化のため完全子会社化後の統合プロセスに注力

03 キオクシア株式の方策検討

- ✓ メモリ事業を継続する戦略的意図はなし
- ✓ キオクシアホールディングスの株式の価値を実現させるため、株式の現金化の可能な方策について継続的に検討

東芝Nextプラン(TNP) フェーズ2への移行

更なる成長の実現・株主価値最大化をめざし、TNPフェーズ2の計画を具体化

本日

2020.11

東芝Nextプラン(フェーズ1)
基礎収益力の強化

TNP フェーズ2計画発表(予定)

東芝Nextプラン(フェーズ2)
インフラサービスカンパニーへ

- ① 成長分野への**資源傾斜配分**
- ② **投資・プログラマティックM&A^{*1}の積極化**
- ③ 成長を支える**全社組織改革**
- ④ 財務戦略見直しによる**成長原資の確保**
- ⑤ 一層の**株主還元の促進**と継続的な**資本配分の改善**
- ⑥ **東証及び名証の一部指定の申請**

*1 出会い頭の日和見的な大型M&Aではなく、既存事業との隣接性や補完性が高い領域にフォーカスし、事業戦略の一部として毎年複数の小規模M&Aを計画的に実行していく手法

TSR^{*1}向上のための積極的な株主還元策①

成長戦略に加えて、継続的に資本配分を改善していく方針

株主還元実績

自己株式取得

- 2019年11月13日、**7,000億円**の自社株式取得を完了
- 金額・時価総額比・流動性に対する割合のいずれにおいても過去最大^{*2}の自己株式取得

配当

- 新型コロナウイルス感染拡大の環境下にも関わらず、1株あたり20円の年間配当を実施

定款変更

- **現在:**
剰余金の配当及び自己株式の取得は取締役会の決議によって定める



- **株主総会后:**
株主総会においても決議可能

株主の権利を尊重し、重要事項を株主総会で決議できるように変更

*1 Total Shareholders Return キャピタルゲインと配当を合わせた、株主にとっての総合投資利回り

*2 日本企業が過去10年間に行った1,000億円以上の市場買い付けによる自己株取得案件59件

TSR向上のための積極的な株主還元策②

成長戦略に加えて、継続的に資本配分を改善していく方針

今後の資本配分に関する方針

基本 方針

- ✓ 秋ごろに新型コロナウイルス感染症の状況が鎮静化しているようであれば、積極的なポートフォリオの見直しと事業売却を実行していく
- ✓ 一層の株主還元の促進と長期的な企業価値の向上を目的とし、継続的な資本配分の改善を図る

キオクシア

- ✓ キオクシアの株式の価値を実現させるため、株式の現金化の可能な方策について継続的に検討
- ✓ 現金化がなされた際には、手取金純額の過半を原則として株主還元に充当することを意図

内部管理体制の更なる強化：「誠実であり続ける」

子会社での循環取引発覚をうけ、更なる内部管理体制の強化の施策を実行

社内風土刷新

- ✓ CEOからコンプライアンスの重要性についてのメッセージを継続発信
- ✓ 従業員のコンプライアンス意識の強化
- ✓ 内部通報制度の拡充

システム装備

- ✓ 財務会計・調達部門は事業側と分断のうえ、牽制機能を強化
- ✓ ヒューマンエラーの防止と見える化のための新ITシステムの導入
- ✓ 子会社数の削減

牽制機能の強化

- ✓ 外部有識者を入れたコンプライアンス有識者会議の新設
- ✓ 監査機能の人員増強
- ✓ グループ会社監査役との連携強化

TOSHIBA

第181期定時株主総会

会社提案

第1号議案
定款変更の件

招集ご通知8ページ以下を
ご覧ください

会社提案

第2号議案

取締役12名選任の件

招集ご通知10ページ以下を
ご覧ください

第2号議案 取締役12名選任の件



内部管理体制強化の観点からも最善と確信

会社提案

第2号議案

取締役12名選任の件

取締役候補者の氏名、候補者とした理由等は、
招集ご通知16ページから31ページをご覧ください。

株主提案 (3D OPPORTUNITY MASTER FUND様)

第3号議案

取締役2名選任の件

議案の要領及び提案の理由等は、
招集ご通知33ページから36ページをご覧ください。

当社取締役会の意見は、本議案に**反対**です。

<決議事項>

株主提案 (Effissimo Capital Management Pte Ltd 様 及び
SMP Partners (Cayman) Limited as trustee of ECM MF様)

第4号議案

取締役3名選任の件

提案の内容及び理由は、
招集ご通知37ページから42ページをご覧ください。

当社取締役会の意見は、本議案に**反対**です。

<決議事項>

株主提案 (Effissimo Capital Management Pte Ltd 様 及び
SMP Partners (Cayman) Limited as trustee of ECM MF様)

第4号議案

取締役3名選任の件

提案の内容及び理由は、
招集ご通知37ページから42ページをご覧ください。

第3号議案及び第4号議案に対する取締役会の意見

当社取締役会の意見は、
いずれの議案に対しても**反対**です。

TOSHIBA

第181期定時株主総会